

「はい、お元気ですか。ぼくの留学ももうすぐ終わりです。来月の初めには日本に帰ります。先夫の知し」と言いますが、あつという間の1年でした。ここへ来たおかげで、本当にいろいろなことを勉強することができました。でも、この間「まだまだ勉強が足りない」と感じる大失敗を a. \_\_\_\_\_。

この間に彼女ができたことはこの間お話ししましたが、大失敗というのは彼女とのことでした。昨日9日はぼくの誕生日で、彼女はぼくにプレゼントをくれました。ぼくはすごく嬉しくて、次の日お返しにハンカチをプレゼントしました。ところが、それから彼女から電話が \_\_\_\_\_ のです。朝「おはよう」とあいさつしても彼女は知らないふりをしますし、うちに電話をしても「今忙しいから」と言ってくれます。c. \_\_\_\_\_。先週も彼女と話をしようと思ったのですが、彼女は怒った顔をして家に d. \_\_\_\_\_。

昨日のぼくがプレゼントしたハンカチでした。後で友だちに聞いたのですが、フィリピンでは友人にハンカチをプレゼント e. \_\_\_\_\_ のです。ハンカチをプレゼントするというのは、「二人の関係はもう終わりだ。別れましょう」という意味だからです。たぶん彼女は「ぼくが彼女のことを好きではなくなった」と感じているのでしょう。これはぼくの大失敗です。でも、今は後悔ばかりしている g. \_\_\_\_\_。一日もはやく彼女の誤解を解いてほしいからです。そんな i. \_\_\_\_\_。

つまり、ぼくが彼女を誤解 j. \_\_\_\_\_ のは事実ですし、彼女を誤解させたまま日本に k. \_\_\_\_\_。明日彼女の家へ行って謝ろうと思います。そして、一生懸命自分の気持ちを l. \_\_\_\_\_。

日本に帰る前にもう一度手紙を書きます。

1992年 2月 1日 マニラにて

安田信二